

## 記入要領

### 履歴書(別記様式1)

1. 「生年月日(年齢)」の欄の年齢には、当該応募時における満年齢を記入してください。
2. 「学歴」の欄について
  - ①大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む。)を有する場合、すべての学歴(授与された学位及び称号を含む。)を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
  - ②学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
  - ③看護師、保健師、助産師、教員等の免許、資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
  - ④学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
  - ⑤外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
3. 「職歴」の欄について
  - ①すべての職歴(自営業、無職等を含む。)を記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
  - ②各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
  - ③研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
  - ④大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。
4. 「学会及び社会における活動等」の欄について
  - ①学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
  - ②教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。
  - ③学会の役職(評議員、理事等)及び委員会等の役職を記入してください。
5. 「賞罰」の欄には、学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

また、刑事罰のみではなく、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。
6. 「職務の状況」の欄について

ア「職務の状況」の欄には、応募時現在における職務の状況について記入してください。

イ「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「－」を記入してください。
7. 当該応募者が外国人である場合、母国語により記入して差し支えありません。この場合、訳文を添付してください。

### 教育研究業績目録(別記様式2)

1. 「研究業績等に関する事項」の欄について
  - ①研究業績等に関する事項には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。
  - ②「著書、学術論文等の名称」の項について

ア研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(学会発表等)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。さらに、DOIを付与されたものについては、記号番号を記入してください。

イ著書については、書名を記入してください。

ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。

エ その他については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

③「単著、共著の別」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。

④「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。

⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について

ア 著書については、発行所を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

⑥「概要」の項について

ア 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。

イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと。)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。

2. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

①「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

②「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

③「教育上の能力に関する事項」の項について

ア「1 教育方法の実践例」

○ 授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上での公開等

○ 司法研修所等の教育機関における教育経験

イ「2 作成した教科書、教材」

○ 授業や研修指導等で使用する著書、教材等

ウ「3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価」

○ 各大学における学生による授業評価、教員による相互評価等の結果(必須)

客観的な教育評価の概要を記入し、授業科目ごとの根拠資料を添付してください(職歴の大学等で何れも実施していなければ、その旨を記載してください)。

○ 各大学における自己点検・評価での評価結果(任意)

エ「4 その他」

○ 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等

○ 国家試験問題の作成等

④「職務上の実績に関する事項」の項について

ア「1 免許、資格」

○ 看護師、保健師、助産師、教員等の免許、資格

イ「2 特許等」

○ 特許、実用新案等

ウ「5 その他」

○ 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等

○ 論文の引用実績等

本学採用後に、重大な経歴詐称が判明した場合には、採用取消や懲戒解雇等の対象となるので、本履歴書は正確に記入してください。